

平成21年7月3日

企画競争に関する公告

静岡大学において、下記のとおり企画競争に付します。

1. 企画競争に付する事項

(1) 件名

静岡大学キャンパスミュージアム企画展「富士山展」実施について

(2) 事業の内容等

別紙「公募要領」及び「仕様書」のとおり

2. 企画競争に参加する者に必要な資格に関する事項

(1) 国立大学法人静岡大学契約規則第4条及び第5条の規定に該当しない者であること。

(2) 国の競争参加資格（全省庁統一資格）又は国立大学法人静岡大学の競争参加資格のいずれかにおいて、平成21年度に東海・北陸地域の「役務の提供等」の「B」、「C」又は「D」の等級に格付されている者であること。

(3) 国立大学法人静岡大学契約担当役から取引停止の措置を受けている期間中の者でないこと。

(4) その他、公募要領等に掲げる資格による。

3. 説明会の日時及び場所

説明会は実施しないものとする。

4. 参加表明書の提出期限等

提出不要

5. 企画提案書の提出方法等

提出期限：平成21年7月16日（木）17時00分必着

提出先：下記「本件担当、連絡先」に示す場所

提出方法：持参、郵送に限る

○持参 受付時間：平日8時30分～17時15分

（12時30分～13時30分を除く）

○郵送 簡易書留や宅配便等で配達記録が残るものに限る

6. 面接選考の日時、場所

日時：平成21年7月23日（木）

詳細は企画競争参加者に別途連絡する

7. 事業規模（予算）及び採択件数

別紙、公募要領等による。

8. 選定方法等

別に定めた審査基準及び公募要領等に基づき行う。

9. その他

本件に関するその他必要事項については、公募要領等による。

別紙

公募要領

仕様書

契約書（案）

「本件担当、連絡先」

住所：〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷 836

担当：静岡大学財務施設部契約チーム調達第二担当

電話：054-238-4434

FAX：054-238-5495

静岡大学キャンパスミュージアム企画展「富士山展」実施の件

1. 件名

静岡大学キャンパスミュージアム企画展「富士山展」実施

2. 事業の内容等

別紙「仕様書」のとおり

3. 企画競争に参加する者に必要な資格に関する事項

- (1) 国立大学法人静岡大学契約規則第4条及び第5条の規定に該当しない者であること。
- (2) 国の競争参加資格（全省庁統一資格）において、平成21年度に東海・北陸地域の「役務の提供等」の「B」、「C」又は「D」の等級に格付されている者であること。
- (3) 本件調達の企画提案において、「私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律」（昭和22年法律第54号。以下「独占禁止法」という。）に違反し、価格又はその他の点に関し、公正な競争を不法に阻害するために企画提案を行った者でないこと。
- (4) 国立大学法人静岡大学契約担当役から取引停止の措置を受けている期間中の者でないこと。
- (5) その他、別紙「仕様書」等に掲げた事項による。

4. 説明会の日時及び場所

説明会は実施しないものとする。

5. 参加表明書の提出期限等

提出不要

6. 企画提案書の提出方法等

- (1) 提出期限：平成21年7月16日（木）17時00分必着
提出先：下記「本件担当、連絡先」に示す場所
提出方法：持参、郵送に限る
○持参 受付時間：平日8時30分～17時15分
(12時30分～13時30分を除く)
○郵送 簡易書留や宅配便等で配達記録が残るものに限る
- (2) 企画提案書等の作成方法
 - ①企画提案書の用紙サイズはA4で20枚程度までとする。ただし、図表等については必要に応じてA3サイズの折り込みも可とする。
 - ②企画提案書、見積書を提出する際には、組織の代表名及び印で、本件に対する応募の意志を明確に示す書面を提出すること。
 - ③企画提案書に関する事務連絡先（照会先）を明記すること。
 - ④提出書類の作成に用いる言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨とする。

(3) 提出部数

- ①企画提案申請書（別紙様式2） 1部
- ②企画提案書 4部（正1部、複3部）
製本等せず、脱着可能なクリップ等でまとめること。
- ③経費見積書 4部（正1部、複3部）
税込の総額を必ず表示すること
- ④経費見積書の電子ファイル 1部
CD 又は DVD に限る、拡張子は「.xls」又は「.csv」
- ⑤企画競争参加者の概要（要覧・会社案内等） 4部（正1部、複3部）
- ⑥類似の契約実績 4部（正1部、複3部）
提出は任意とするが、採点で不利になることもある
- ⑤と一体になったものも可
- ⑦資格審査結果通知書の写し 1部
- ⑧法令の定めによる許認可等に基づいて営業を行う
必要がある場合にあっては、その許可証の写し 4部
- ⑨その他、仕様書等で指定する書類 指定部数

(4) その他

- ①提案する企画は1点とする
- ②仕様書において指示のある場合は、別経費の提案をすることができる。
この場合、別途経費分の見積書を別に作成し、所用額を明確に示さなければならない。
なお、別途経費分として計上したことにより、採点で不利になることもある。
- ③提出書類等は返却しない。
- ④申請書類は、選定のための審査の目的以外には使用しない。

7. 面接選考実施

日時：平成21年7月23日（木）

詳細は企画競争参加者に別途連絡する

30分以内を目安とする（企画提案書の説明、質疑応答）

8. 事業規模（予算）及び採択件数

別紙「仕様書」のとおり

9. 選定方法等

(1) 選定方法

選定委員会において企画提案者に対する書類選考及び面接選考を実施する。第一次審査として書類選考を、第一次選考の通過者に対して面接選考を実施する。

※選考に当たっては、必要に応じて企画提案書等の詳細に関する追加資料の提出を求める場合もある。

(2) 審査基準

審査は選定委員会において、各選定委員が審査基準に従い評価を行い、得点値が最も高い提案者を選定する。なお、選定委員会は非公開で行うこととし、審査の内容や経過に関する問い合わせには応じない。

審査基準は以下のとおり

①事業目的を理解しているか	10
②仕様書等で示した性能等の要求要件を満たしているか	25
③提案内容・手法は効果的かつ適切か	25
④受託者の実行能力	20
⑤費用は適切か	20

(3) 選定結果

選定終了後、すべての提案者に選定結果を連絡する。

面接選考参加者には、評価の概要について連絡する。

(4) 無効となる企画提案書

- ①公募対象に該当しない者の企画提案書
- ②本事業の趣旨に適合しない企画提案書
- ③書類の不備等、記載すべき事項が記載されていない企画提案書
- ④期限までに提出されなかった企画提案書
- ⑤仕様書等で要求した性能等の要求要件を満たしていない企画提案書

10. 契約締結

選定の結果、契約予定者と企画提案書等を元に契約条件を調整するものとする。なお、契約金額については、企画提案書等の内容を勘案して決定するものとするので、企画提案者の提示する金額と必ずしも一致するものではない。また、契約条件が合致しない場合には契約締結を行わない場合がある。

契約書は別紙「契約書（案）」のとおり。

面接選考後の流れは次のとおり

- ①契約条件の設定
- ②見積書の提出（企画提案書がそのまま採用された場合でも必要）
- ③見積書が予定価格の範囲内なら契約締結

11. その他

①提出書類の作成・提出等、企画競争参加に係る一切の費用は、審査結果に関わらず申請者の負担とする。

②仕様書等で要求した性能等の要求要件を満たしていることが明確でないと選定委員が判断したものについては、無効となる場合があるので注意すること。

③本件に関するその他必要事項については、仕様書等による。

「本件担当、連絡先」

住所：〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷 836

担当：静岡大学財務施設部契約チーム調達第二担当

電話：054-238-4434

FAX：054-238-5495

1

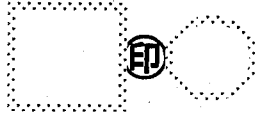
企画提案申請書

静岡大学 殿

件名

静岡大学キャンパスミュージアム企画展「富士山展」実施

公募要領に示された「企画競争に参加する者に必要な資格に関する事項」を満たしている事を誓約し、企画提案申請をします。

申 請 者	
企業・団体名・支店等名 代表者役職名 代表者氏名	
所在地	〒
担 当 者 連 絡 先	
所属部署・役職名	
氏名（ふりがな）	
電話番号	
FAX番号	
E-mail	

支 店 等 が 申 請 ・ 契 約 す る 場 合 の 本 店 の 表 示	
企業・団体名 代表者役職名 代表者氏名	
所在地	〒

静岡大学創立 60 周年記念事業
静岡大学キャンパスミュージアム企画展「富士山展」の仕様書

1.事業名

静岡大学創立 60 周年記念事業 静岡大学キャンパスミュージアム
企画展「富士山展」 富士山の過去と現在と未来

2.事業場所

静岡県静岡市駿河区大谷 836
静岡大学大谷キャンパス 大学会館 2 階

3.実施日時

2009 年 11 月 13 日（金）～2010 年 2 月 19 日（金）の平日 10：00～16：00

※祝日、年末年始（12/21～1/10）を除く。

※静大祭開催中及び翌週の土日（11/21・22・28・29）、11/23（月・祝）、12/5（土）、12/12（土）は開館。

4.事業の目的、趣旨

富士山は日本の象徴であり、人々はその恩恵を受けている。地元静岡大学創立 60 周年記念としてその科学像を紹介することによって、類いまれな秀麗を誇る富士山の火山としての実像、そこに住む人間の関わり方を多面的に広く知ってもらおう。

5.事業の内容

詳細は別紙①のとおり。

6.本事業の範囲

- (1)事業実施計画の企画、立案
- (2)参加・協力団体との連絡調整
- (3)案内パネル、岩石標本等展示物とその解説パネル、バナー、床しき赤色立体地図の作成と設置、設営
- (4)事業実施後の撤去
- (5)その他事業開催に必要な業務

7.本事業に含まれないもの

借用品の手配、運搬

8.予算及び採択件数

予算：2,600,000 円程度

採択件数：1 件

9.その他

事業の内容については、上記を基本とすること。上記以外の提案を妨げるものではないが、変更する場合は理由を明記すること。

別紙 ①

静岡大学キャンパスミュージアム企画展「富士山展」

1. 趣旨

富士山は、日本列島の数多い活火山の中でもずば抜けて巨大な山体をもち、山体の秀麗な形とともに静岡の最も代表的で美しい自然景観を作っています。

静岡大学ロゴマークをはじめとしてシンボル化された図案の数々は、静岡であることを一目で表しています。そして富士山は、活火山であり、西暦1707年（宝永4年）の火山活動を最後に300余年の静穏期を続けています。富士山の研究は、静岡大学でも大学設立以来多くの方面からの研究がなされてきました。キャンパスミュージアムには、その一部が展示されています。

昨年、東京上野の国立科学博物館で開催された富士山展は、富士山最後の噴火活動から300年祭として開かれた富士山のすべてを紹介する企画でした。

国立科学博物館は、最近、地方の博物館相当施設とのコラボレーション事業を始め、この事業は双方が展示物を持ち寄り、より効果的な企画展を展開する事業であります。富士山展は、平成18年度の卒業式における同窓生訓話をいただいた国立博物館研究員の佐野貴司博士の企画であったこともあり、今回静岡大学創立60周年記念事業として、この新たなコラボレーション企画をキャンパスミュージアム企画展に提案したいと考えました。

一方、富士山は、その形の美しさから世界には日本のシンボルと見られます。富士山の景観を自然の世界遺産登録の運動も広がっていますが、人為的な不具合が隘路となり、現在は文化遺産としての登録に方向転換をして運動を広げている最中にあります。富士山はいつも日本人の心の片隅に居続け、富士山を取り巻く人と自然のコラボレーションの裾野は富士山と同様極めて広いと考えられます。

キャンパスミュージアムは、静岡大学の教育・研究に使われた資試料の利活用のための宝の貯蔵庫となるべく堅実に整備されてきました。静岡の地に根付いた富士山を思う様々な文化と科学的な成果はまた、日々進化し続けるものであります。今後も、企画展として、静岡の自然と静岡大学に籍を置いた人々の関わりを様々な視点から掘り起こし、これから入ってくる学生に過去から学ぶべき資料を提供し新たな活動のきっかけになることを目指し、様々な企画展を公開してゆきたいと考えております。

2. 開催日程

平成21年11月13日（金）～平成22年2月19日（金） 平日 10:00～16:00

※祝日、年末年始（12/21～1/10）を除く。

※静岡大祭開催中及び翌週の土日（11/21・22・28・29）、11/23（月・祝）、12/5（土）、12/12（土）は開館。

3. 開催場所

静岡大学静岡キャンパス 大学会館2階

面積：約6m×24m

4. 展示内容

①富士山の生い立ち

別添資料2リスト番号：1、2番台

<特記事項>

展示品リスト2-4「赤色立体図」は最低500×500cmに印刷し、加工を施してその上を来館者が歩きながら鑑賞できるようにしたい。

②富士山が噴火したら

別添資料2リスト番号：3番台

<特記事項>

火山弾は床に置くだけの展示にするのではなく、その大きさ、重さや噴火の勢いを来館者に実感してもらえるような展示をしたい。

③富士山を人々はどう見てきたか

別添資料2リスト番号：4番台

5. 添付資料

番号	内容	詳細
1	大学会館見取り図	約6m×24m。矢印通りの順路で鑑賞。
2	富士山展展示リスト	主として国立科学博物館から借用し、本企画展で展示する。全てを展示する必要はない。
3	赤色立体図	リスト番号2-4。加工を施し、その上を来館者が歩きながら鑑賞できるようにしたい。展示必須。写真は暫定のもの。
4	火山弾、溶岩樹形写真	リスト番号3-7、3-8。火山弾の重量は100キロを超える。2点とも展示必須。
5	はぎとり標本	リスト番号3-19。1m×3m、展示必須。
6	銭湯と富士山	リスト番号4-1。展示方法の参考。
7	富士山展パネル	添付のとおり

6. その他

今回の富士山展のテーマは「富士山の生い立ち」「富士山が噴火したら」「富士山を人々はどう見てきたか」「富士山の知らなかった生物」の4つであるが、「富士山の知らなかった生物」については本仕様に含まない。

資料

1

1 m
5 m

DS

倉庫

EV

事務室

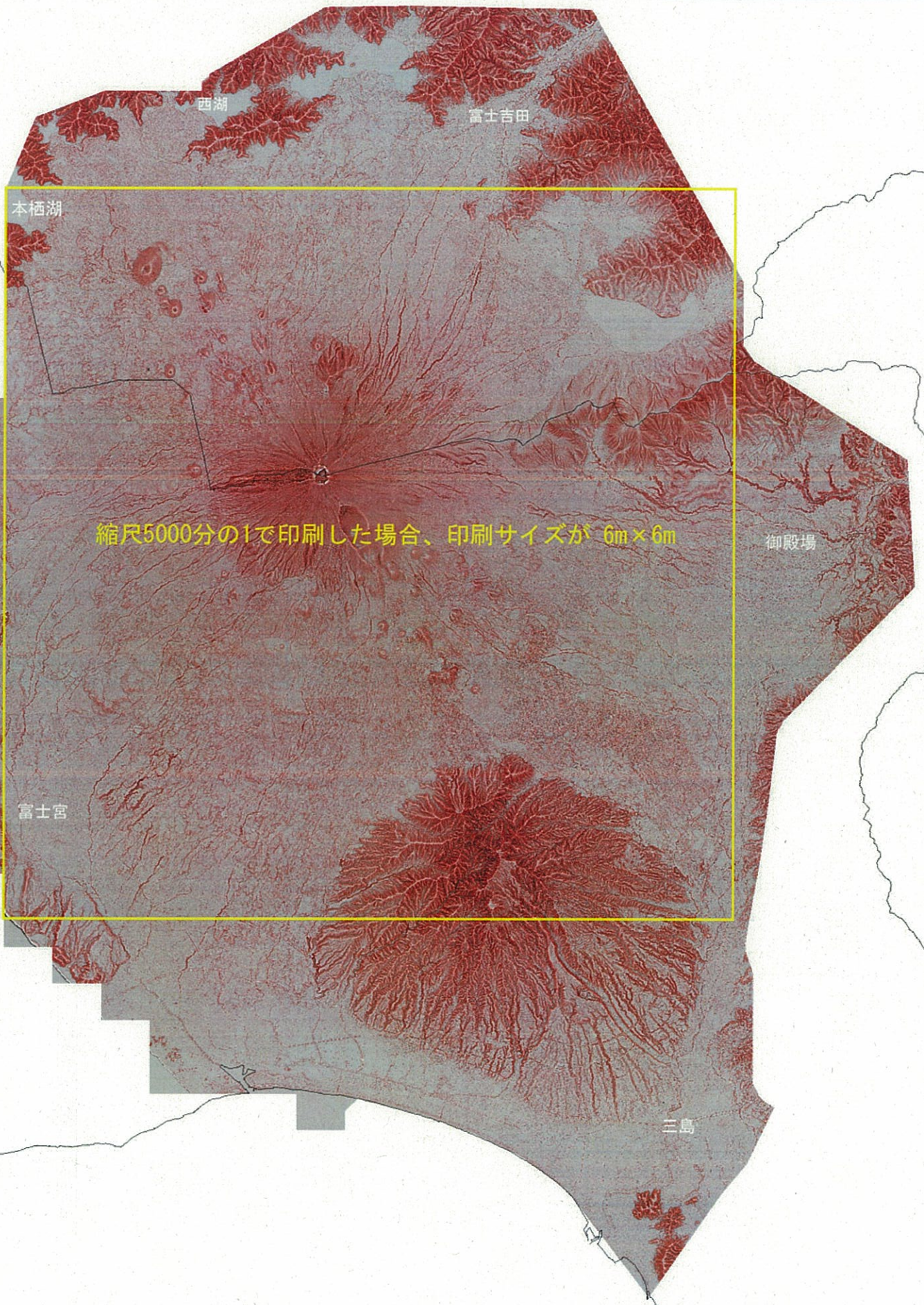
階段
←

富士山展望スペース (6000×24000)

※パネルの配置は参考

富士山展 展示品リスト

番号	展示項目	資料/パネル名	種類	点数	サイズ(mm)	質量(kg)	所蔵
	タイトル	タイトルサイン	パネル	1	w728 x h1028 (B1)		
1-1	導入	展示解説入形 (こころ)	実物	1	w870 x w870 x h1800		科博
	導入	人形コンプレッサー		1	w500 x w610 x h710		科博
1-2	導入	富士山の位置と大きさ	パネル	1	w728 x h1028 (B1)		科博
1-3	導入	富士山の活動史	パネル	1	w728 x h1028 (B1)		科博
1-4	導入	新富士火山の噴火史	パネル	1	w728 x h1028 (B1)		科博
1-5	導入	富士山地質模型	実物	1	w1660 x w1630 x h1300		鳴沢
1-6	導入	先小御岳掘削コア	実物	1	w700 x w1500 x h150		地震研
1-7	導入	古富士泥流に埋没した櫓樹幹	実物	1	w500 x w400 x h300		静大
2-1	火山地形	側火山の分布	パネル	1	w728 x h1028 (B1)		科博
2-2	火山地形	空中写真 (側火山分布)	パネル	1	w728 x h1028 (B1)		科博
2-3	火山地形	南西部の微細地形図 (赤色立体図)	パネル	1	w728 x h1028 (B1)		科博
2-4	火山地形	赤色立体図	床全面	1	w5000 x w5000 (もっと大きくならないか)		科博
2-5	火山地形	富士山麓からの様々な写真 (北側)	写真	?			富士砂防
2-6	火山地形	富士山麓からの様々な写真 (南側)	写真	?			静大
3-1	噴出物	溶岩流、溶岩樹形、溶岩鍾乳石の解説	パネル	1	w728 x h1028 (B1)		静大
3-2	噴出物	岩石の顕微鏡観察の解説	パネル	1	w700 x w700 x h350		科博
3-3	噴出物	溶岩流 (柱状節理)	実物	1	w280 x w200 x h110	300	科博
3-4	噴出物	火山弾 (牛糞状)	実物	1	w30 x w30 x h200	4	科博
3-5	噴出物	溶岩鍾乳石	実物	1	w300 x w300 x h300		静大
3-6	噴出物	溶岩球	実物	1	w1000 x w400 x h300	30	鳴沢
3-7	噴出物	火山弾 (紡錘状)	実物	1	w400 x w300 x h500	100	富士砂防
3-8	噴出物	溶岩樹型樹幹表皮陰形	実物	1	w500 x w200 x h150	10?	富士砂防
3-9	噴出物	火山弾	実物	1	w300 x w300 x h500	5	池谷
3-10	噴出物	溶岩樹形(筒型)	実物	1	w300 x w200 x h200		NPO
3-11	噴出物	火山弾	実物	1	w200 x w200 x h150		NPO
3-12	噴出物	火山弾	実物	1	w300 x w200 x h200		NPO
3-13	噴出物	縄状溶岩の一部か火山弾の一部	実物	1	w500 x w200 x h150		NPO
3-14	噴出物	宝永火山口解説	パネル	1	w728 x h1028 (B1)		科博
3-15	噴出物	噴火の推移	パネル	1	w728 x h1028 (B1)		科博
3-16	噴出物	宝永噴火火山灰の厚さ図	パネル	1	w728 x h1028 (B1)		科博
3-17	噴出物	宝永噴火被害想定ビデオ	ビデオ	1			科博
3-18	噴出物	宝永噴火被害想定ビデオ	ビデオ	1			科博
3-19	噴出物	宝永噴火マップの作製方法	実物	1	w1000 x h3000		科博
3-20	噴出物	火山防災マップの作製方法	パネル	1	w728 x h1028 (B1)		科博
3-21	噴出物	防災用噴火ビデオ	実物				科博
4-1	歴史と文化	富士山画	実物	1	w1820 x h1050		富士砂防
4-2	歴史と文化	浮世絵に描かれた富士山 (富嶽三十六景)	パネル	2	w900 x h2000		科博
4-3	歴史と文化	浅間神社	パネル	1	w900 x h2000		科博
4-4	歴史と文化	富士講	パネル	1	w900 x h2000		科博
4-5	歴史と文化	富士山の恵み	パネル	1	w900 x h2000		科博
4-6	歴史と文化	津屋教授の野帳	実物	数	科博展示ケース内		地震研





↑ 火山彈 (3-7) ↓ 溶岩樹形 (3-8)





富士山が育んだ歴史と文化

やうやうと富士山に近づいていくと、
 山頂の雪が白く輝き、
 山麓の緑が鮮やかに映える。
 富士山は、自然の恵みと人間の文化が
 調和した美しい風景を演出している。



質

山頂

山頂

山頂

山頂

山頂

山頂

山頂

山頂

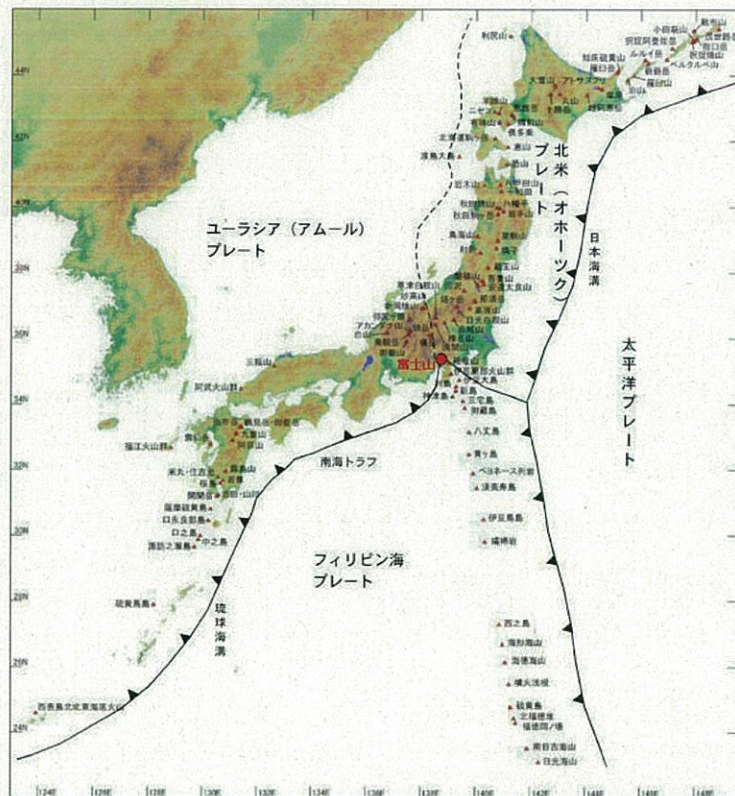
山頂

富士山展宝永噴火三百年「火山としての富士山」

富士山の位置と大きさ

富士山は活火山

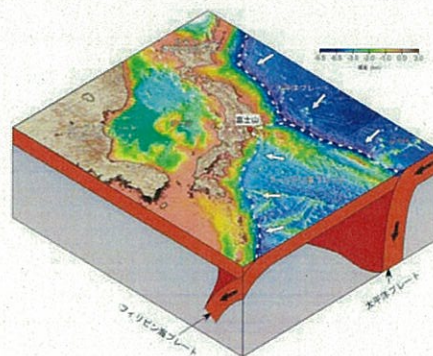
昔、「富士山は休火山である」といわれていました。しかし現在は活火山に区分されています。この理由は休火山という分類がなくなったためです。気象庁は「現在、噴気活動がある火山や、約1万年以内に噴火した火山」を活火山と定めて、富士山を含む108火山を選定しています。



活火山(▲)の分布(気象庁ホームページを改変)

富士山の位置と大きさ

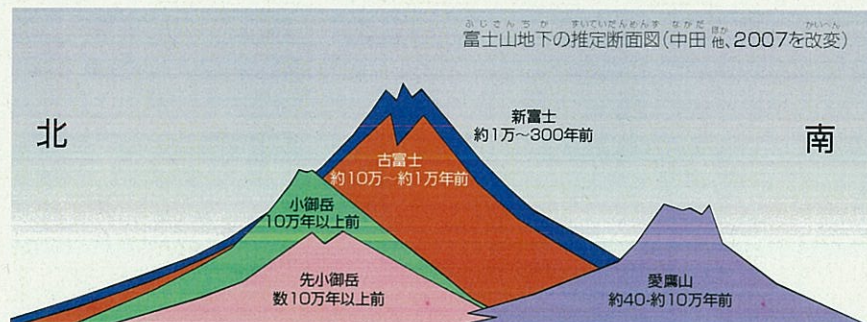
富士山は3つのプレート(地球表面を覆う板状の岩盤)が密集する特別な場所に位置します。日本の火山の中で富士山の山体は特別に大きく、これまでに噴出したマグマの総量は 400km^3 以上もあります。これは現在最も活発に活動している桜島(40km^3)や浅間山(60km^3)の10倍にもなります。



富士火山の活動史

富士山展 宝永噴火三百年「火山としての富士山」

富士山は小御岳、古富士、新富士の3つの火山から構成されています(津屋、1938、1971)。小御岳火山は十数万年前に活動を終え、古富士および新富士からなる富士火山は約10万年前に活動を開始しました。なお、最近の掘削調査により、小御岳火山の下にもう一つ別の火山「先小御岳」の存在が明らかになりました。



古富士火山の活動は約10万~約1万年前であり、爆発的な噴火を繰り返して麓に降下スコリア(黒い軽石)層を堆積させました(下図)。



富士山東側の麓に見られる地層の断面(約2万年間の降下スコリア)
(提供: 鈴木恒治、町田 洋)

また時には山体斜面が崩壊し、火山泥流となって麓に流れ、古富士泥流と呼ばれる地層を形成しました。



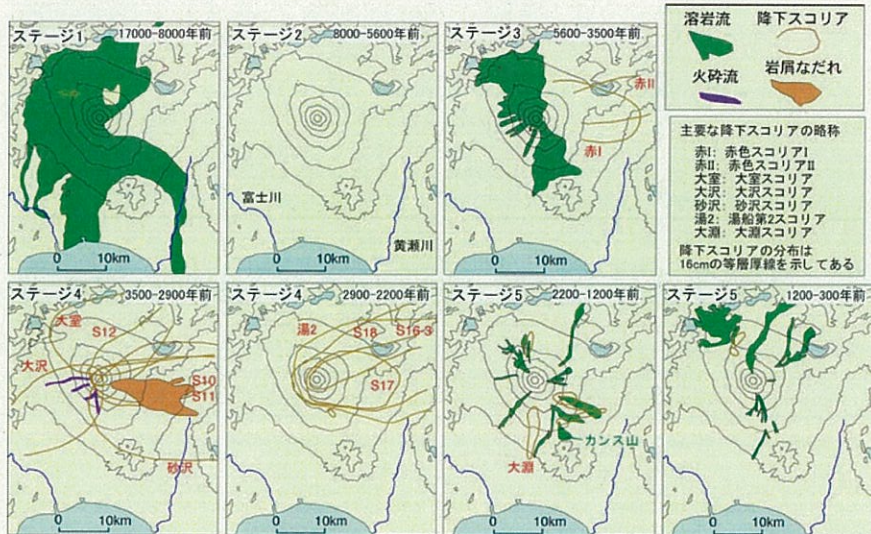
新富士火山の噴火史

富士山展宝永噴火三百年「火山としての富士山」

爆発的噴火が多かった古富士に比べて新富士火山の活動は静かにマグマを流出する溶岩流噴火が多くなりました。300年前の宝永噴火を除き、新富士火山の活動期は噴火様式の違いに基づいて5つの時期(ステージ)に区分されています。

- ステージ1(17000~8000年前): 多量の溶岩を流出
- ステージ2(8000~5600年前): 静穏期
- ステージ3(5600~3500年前): 主に溶岩を流出
- ステージ4(3500~2200年前): 山頂火口から爆発的に噴火
- ステージ5(2200~300年前): 側火山から溶岩を流出

新富士火山の噴火史(宮地、1988、2007を簡略化)



野外で見られる噴出物



カンス山溶岩(約1200年前)



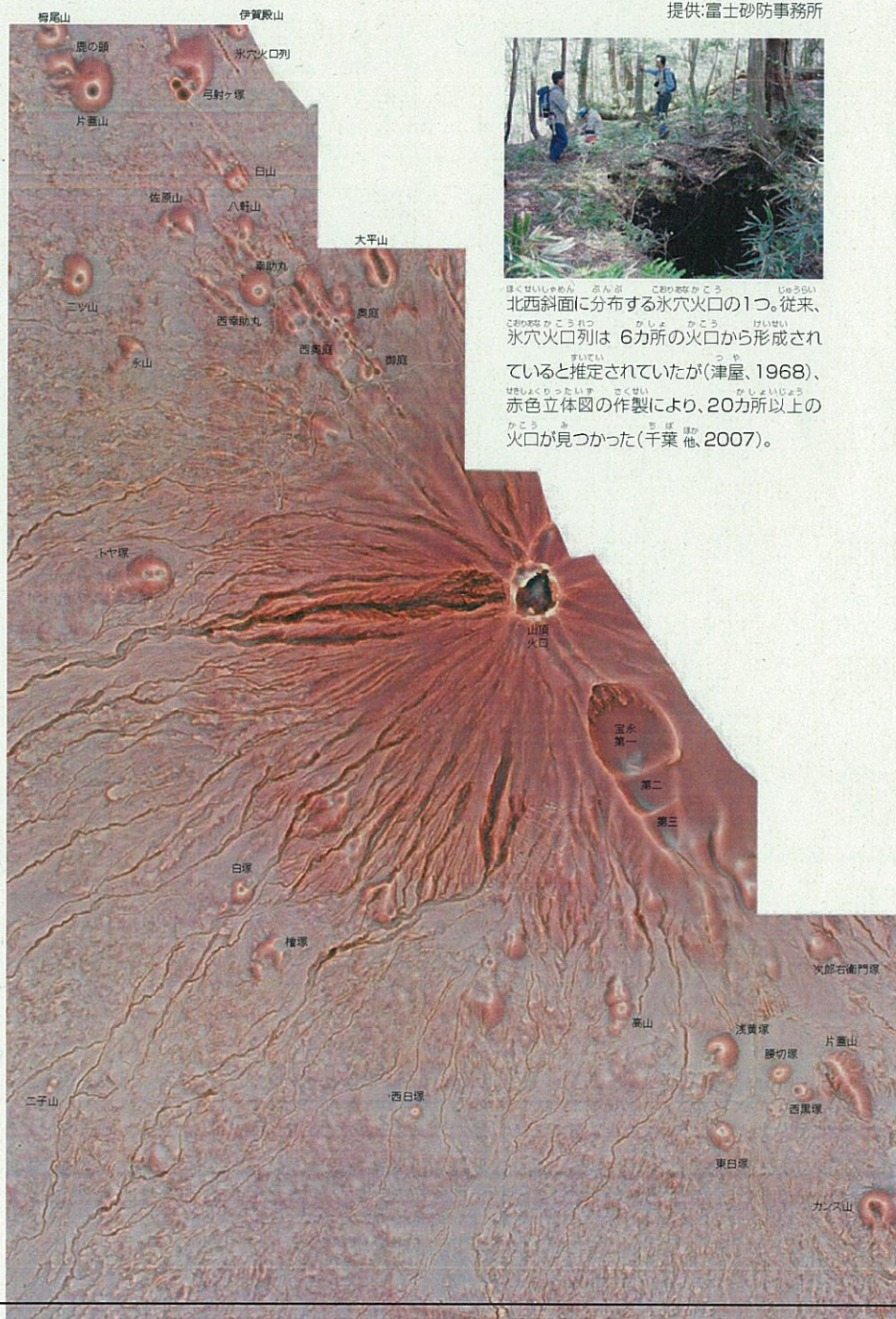
湯船第2スコリア(約2200年前)矢印の部分

富士山展 宝永噴火三百年「火山としての富士山」

南西部の微細地形図（赤色立体図）

従来、地形調査には空中写真を用いた測量が行われていました。しかし富士山裾野の大部分は広大な樹木に覆われているため、薄い溶岩流の分布は良く分からず、小さな火口は見落としてしまいます。富士砂防事務所はレーザー光線を使つての地形計測と特殊なカラー処理により、富士山の微細地形を明らかにしました。これにより各溶岩流の流れた方向が分かったり、新たに側火山が見つかったりしました。

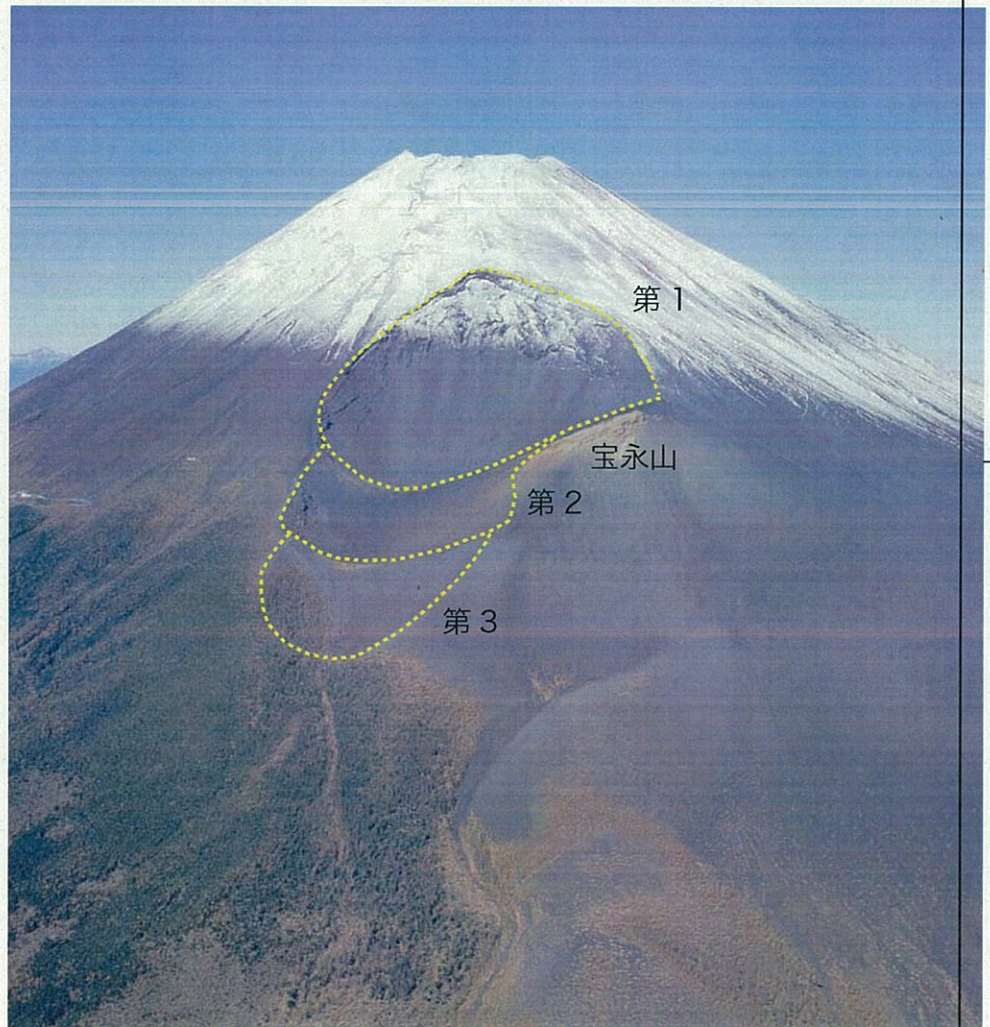
提供: 富士砂防事務所



宝永火口

富士山展 宝永噴火三百年「火山としての富士山」

富士山南東斜面には宝永噴火により3つの火口と宝永山ができました。3つの火口は山頂側から順番に宝永第1、第2、第3火口と呼ばれています。噴火はまず第3火口で始まり、次に第2火口、最後に第1火口で起こりました。宝永山は古富士火山の山体が噴火によって押し上げられた丘であり、第2火口の形成後に盛り上がりました。



提供:富士砂防事務所

この噴火では「宝永スコリア」とよばれる火山砂や火山灰を噴出しました。溶岩の流出はありませんでした。

富士山展 宝永噴火三百年「火山としての富士山」

噴火の推移

噴火は1707年12月16日午前10時頃から1708年1月1日未明まで約16日間続きました。噴出物が積もった地層(宝永スコリア層)は色や気泡量の違いによってI~IVの4層に区分できます(宮地, 1984)。地層の下位が初期の噴出物であり、上位に行くほど後に堆積したものです。

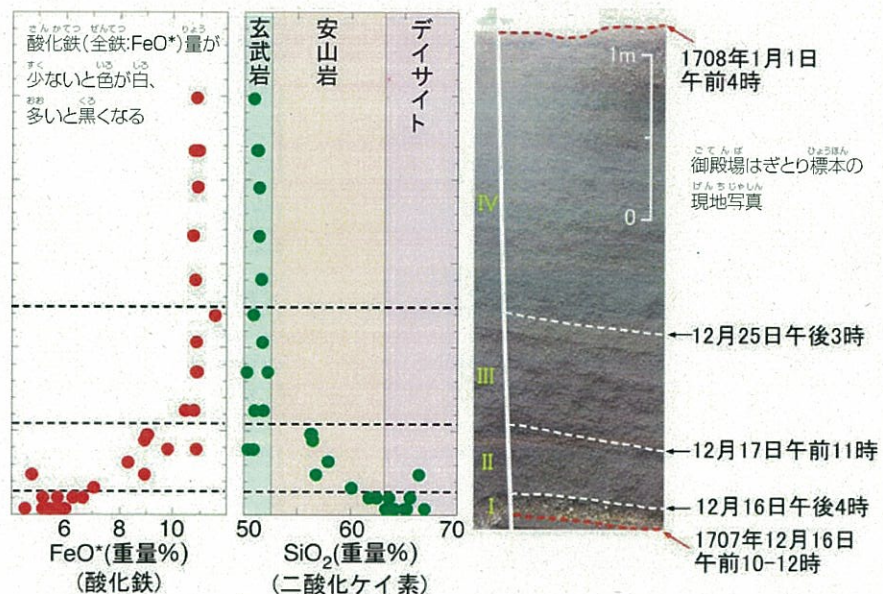
I: 白くて気泡に富むデイサイト

II: 真っ黒で緻密な安山岩

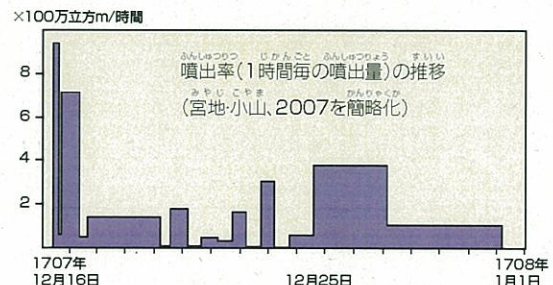
III: 黒くて気泡量が中程度の玄武岩

IV: 黒くて気泡に富む玄武岩

I~IIは宝永第2、第3火口から、III~IVは第1火口から噴出したようです(宮地, 1984)。



噴火は活発化と沈静化を繰り返し、16日間で約7億 m^3 (東京ドーム約560杯分)のマグマを噴出しました。噴火が最も活発だったのは最初の2日間であり、その後の1週間は小規模な噴火が断続的に続いた後、12月25日からの3日間に噴火が再活発化しました。



火山灰の厚さ

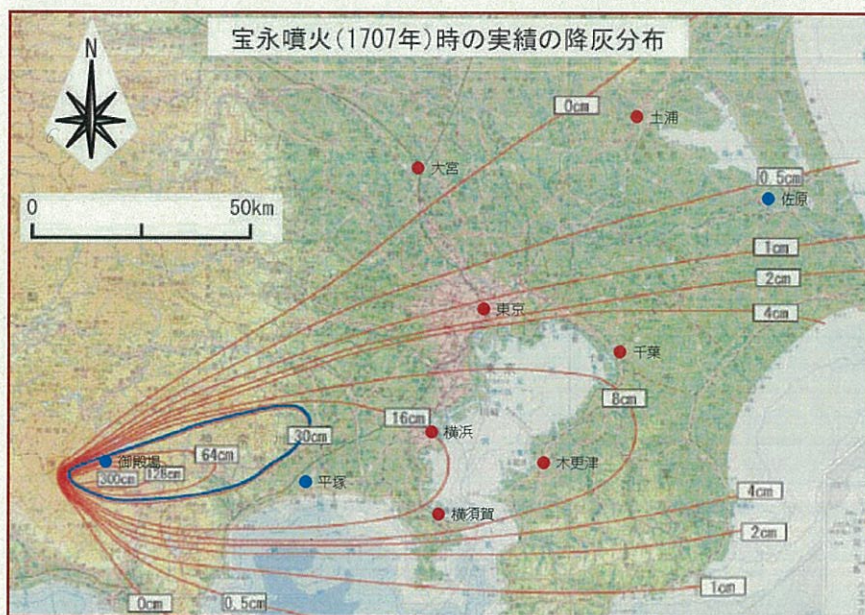
富士山展 宝永噴火三百年「火山としての富士山」

ふんしゅつぶつ ぶんぶ
噴出物の分布

ふしゅうつ かざん き かいざんばい じょうう せん かいじょう せいりゅうせん じょうしりょう つま へんせいりゅう
噴出した火山砂や火山灰は上空1万m以上の成層圏まで上昇し、強い偏西風
(ジェット気流)に乗って東に運ばれ、南関東のほぼ全域を覆いました。

火口から東へ12kmの地点(御殿場はぎ取り標本)では火山砂が約3m降り積もりました。火口から約40km離れた地点(平塚はぎ取り標本)でも火山灰が厚さ約20cmに堆積し(展示標本の上部はその後の洪水などによって乱され、堆積時よりも薄くなっています)、約170km東方の香取市佐原(伊能景利標本)にも降灰がありました。

てんじひょうほん　さいしゅちてん　しめ
展示標本の採取地点は●で示してあります



みやじ かいへん
宮地(1984)を改変

ふんか ひがい
噴火による被害

火口から東へ約10kmの須走村(現在の静岡県小山町須走)には火口から放出された灼熱の岩石が直撃し、家屋の37件が焼失し、残りの39戸(寺を含む)も噴出物の重みで全て倒壊しました。

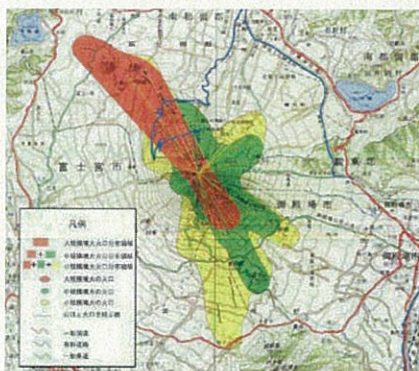
須走村以外でも、現在の静岡県小山市町や御殿場市域では、住居地も耕地も厚さ1～2mもの火山砂に覆われたため、生活・生産の基盤が壊滅し、多数の餓死者が出ました。

火山砂や火山灰は、その後の降雨により沢や川に流入して押し流され、最後には神奈川県足柄平野を流れる酒匂川下流に堆積して川底を高く押し上げました。そして豪雨の度に堤防が決壊し、濁流が足柄平野を埋め尽くし、大被害を引き起こしました。

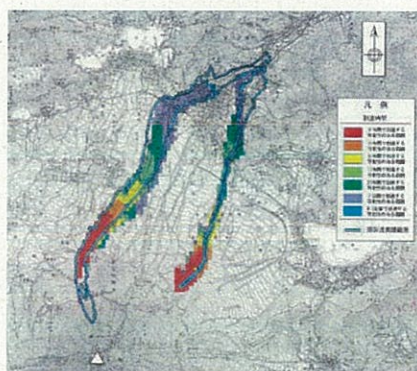
富士山展 宝永噴火三百年「防災面から見た富士山」

火山防災マップの作製方法

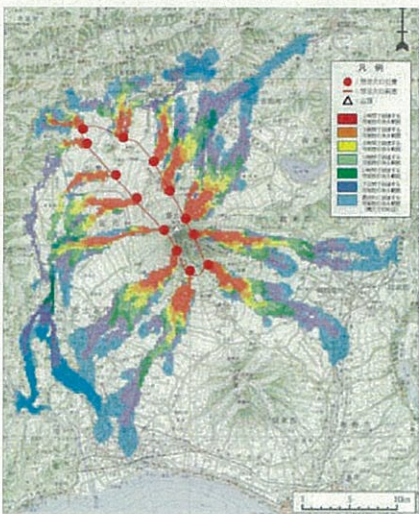
将来の噴火によって予想される被害地域を全て重ねて表示したものが火山防災マップです。従って、次に富士山が噴火した際、火山防災マップで示された場所が全て危険区域になるということはありません。このことは火山防災マップの作製方法を見ると理解できます。そこで、ここでは溶岩流噴火を例にとり、マップの作製方法を紹介します(内閣府、2004)。



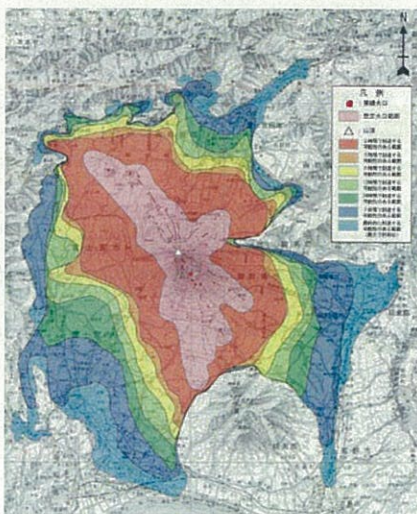
(1) まず過去に噴火が起こった全火口の位置を基に、将来火口ができる可能性のある場所を囲む。



(2) (1) 図の最も外側の地点を火口とし、ここから噴火が起きた時に溶岩流の流れる方向や速度を数値シミュレーションによって計算する。これにより、ある1つの火口から噴出した溶岩流が何時間後にどこまで流下するのかを予想する。



(3) 異なった数多くの火口位置について(2)と同様のシミュレーションを行う。



(4) (3) で行ったシミュレーションを全て重ねて、同一時間経過後に溶岩流が到達した地点をつないで輪郭をつくる。

噴石、火砕流、泥流についても同様の方法によってマップを作製し、全てを一つのマップに表示します。

請 負 契 約 書 (案)

請負の表示 静岡大学キャンパスミュージアム企画展「富士山展」実施

請負代金額 金 円也 (うち消費税額及び地方消費税額 円)

上記の消費税額は、消費税法第28条第1項及び第29条並びに地方税法第72条の82及び第72条の83の規定に基づき、請負代金に105分の5を乗じて得た額である。

発注者 国立大学法人静岡大学契約担当役財務施設部長 田中 宏和 (以下「甲」という。) と、請負者 (以下「乙」という。)
との間において、上記の請負について上記の請負代金額で下記の条項により請負契約を結ぶものとする。

記

第1条 甲がイベントを円滑に実施できるよう、乙は本契約書、別冊仕様書及び企画提案書に基づき業務を実施する。

第2条 イベント実施期間は、平成21年11月13日～平成22年2月19日とする。

- * 祝日、年末年始 (12月21日～1月10日) を除く。
- * 静大祭開催中及び翌週の土日 (11月21日・22日・28日・29日)、
11月23日 (月・祝)、12月5日 (土)、12月12日 (土) は開館。

第3条 完了通知書は、国立大学法人静岡大学財務施設部経理・契約チーム調達第二担当に送付するものとする。

第4条 請負代金の請求書は、国立大学法人静岡大学財務施設部経理・契約チーム調達第二担当に送付するものとする。

2 請負代金は、甲が乙からの適法な請求書を受理した日から起算して60日以内に支払うものとする。

第5条 契約保証金は免除する。

第6条 甲は、乙が業務の実施に著しく誠意を欠き、又はこの契約を誠実に履行する意志がないと認めたときは、直ちにこの契約を解除するものとする。

第7条 乙は、業務の遂行により知り得た一切の事項に関する秘密を保持し、いかなる事由を問わず第三者に開示してはならないものとし、本契約終了後においても同様とする。

ただし、法令の定めに基づきまたは権限のある官公庁から要求があった場合はこの限りでない。

第8条 甲又は乙は、やむを得ない理由によりこの契約を解除しようとするとき、又は契約の一部を変更する必要がある場合は、甲・乙協議のうえ、これを解除又は変更することができるものとする。

第9条 この契約に定めるもののほか、この契約の履行について必要な事項は別添国立大学法人静岡大学工事請負等契約細則によるものとする。

第10条 この契約について、甲・乙間に紛争が生じた場合は、双方誠意をもって協議し、円滑にこれを解決するものとする。

第11条 この契約について定めのない事項について、これを定める必要がある場合は、

甲・乙協議し、これを定めるものとする。

第 12 条 この契約に関する訴えの管轄は、国立大学法人静岡大学所在地を管轄とする静岡地方裁判所とする。

上記契約の成立を証するため、甲及び乙は次に記名し印を押すものとする。

この契約書は2通作成し、双方で各1通を所持するものとする。

平成21年 月 日

甲 静岡市駿河区大谷836
国立大学法人静岡大学
契約担当役財務施設部長 田 中 宏 和

乙